

へんしゅうこうき
* 編集後記 *



今年度もたくさんの方々にご協力いただき、この調査報告書を皆さんのもとにお届けすることができました。レポーターの皆さん、検討委員の先生方、ご協力いただいた皆さん、誠にありがとうございました。今年度もコロナの影響で外出を控えることが多い一年となりましたが、それでもたくさんのご報告をいただき、大変感謝しております。

この事業に携わって早いもので3年が過ぎ、生き物の知識がほとんどなかった私でも今では凶鑑などを見ずに判別できる生き物が増え、生き物に出会えば写真を撮り、生き物の変化で季節を感じ・・・とすっかり自然・生き物が大好きになりました。「好きこそ物の上手なれ」と言いますが、この事業を通して、興味や親しみを持って継続することの重要性を実感しました。レポーター事業に携わることができて良かったと心から思います。ぜひ皆さんも、これからも自然や生き物に親しみを持ってレポーターを続けていただければ幸いです。そしてこのレポーター事業がこれからも長く続いていくことを願っています。



環境レポーター事業は2022年4月で30年目を迎えます。今後も皆さんが自然により親しみを持って、楽しく調査できるよう工夫するとともに、皆さんの努力の結晶を郷土足利の環境保全に役立ててまいります。

令和3(2021)年度 環境に関する大きなできごと

約20年ぶりに
全国鳥類繁殖分布調査が行われました

2016年から2021年にかけて行われたこの調査により、ツバメ、スズメなど開けた場所を利用する種の個体数の減少、ガビチョウやソウシチョウなどの外来種の個体数の顕著な増加が明らかになりました。この調査の結果はwebサイトで公開されていますので、興味のある方はぜひご覧ください。

真鍋淑郎さんが
ノーベル物理学賞を受賞

日本出身で米国籍の真鍋淑郎氏が、大気中の二酸化炭素濃度が気候に与える影響を明らかにしたとして、ノーベル物理学賞を受賞しました。気候研究の分野でノーベル物理学賞が授与されるのは初めてのことです。地球温暖化対策が加速する世界において、非常に大きな価値のある受賞となりました。